Shionkai Symphony Orchestra

志音会オーケストラ

第4回演奏会

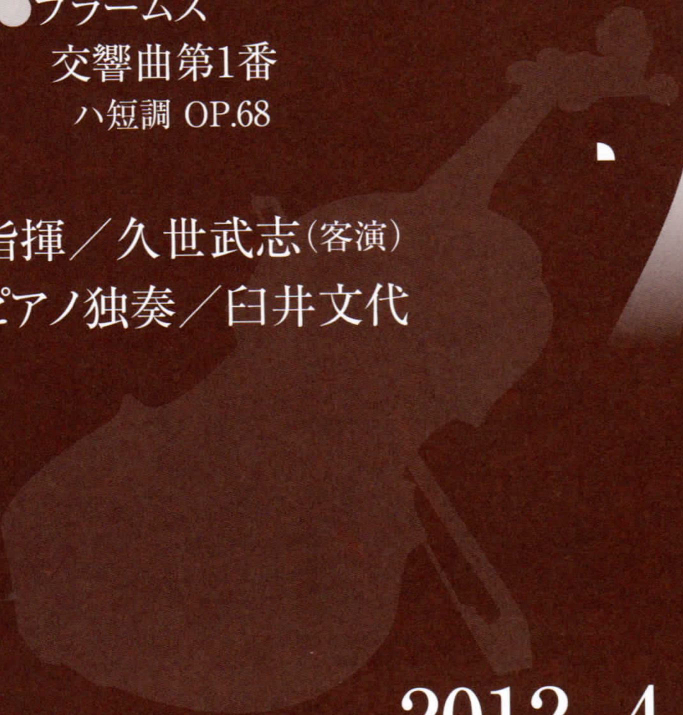
Program

●バッハ
管弦楽組曲第3番より
"アリア" "ガヴォット"

●ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第3番
ハ短調 OP.37

―――― 休憩 ――――

●ブラームス
交響曲第1番
ハ短調 OP.68



指揮／久世武志（客演）
ピアノ独奏／臼井文代

2012.4.8（日）

●15:30開演（15:00開場）　●長野県松本文化会館中ホール

主催：松本深志高等学校音楽部志音会　後援：松本市、松本市教育委員会

ご挨拶

志音会オーケストラ代表　等々力　康友

本日は松本深志高校OB「志音会オーケストラ」第4回演奏会にご来場頂き有難うございます。
音楽部室内楽班OBを母体とし、東京と松本交互に毎月練習を行うことを基本に「フル2管編成の管弦楽団」を目指し、「志音会オーケストラ」の活動を始めてから今年で8年になります。
当初はバッハ、モーツァルト等の比較的小編成の曲目に取り組んでおりましたが、一昨年からは木管、金管、打楽器部門に吹奏楽部OBに加わってもらい、徐々にではありますがメンバーも増え、一昨年、昨年とベートーヴェンの交響曲（運命、7番）を演奏し、お陰さまで皆さんから好評を得ることが出来ました。
今回は当面の目標でもあったブラームスの交響曲に取り組むことといたしました。ブラームスの交響曲はベートーヴェンに比べ音符が複雑でかつ編成も大規模となります。本日は総勢80名の編成で演奏いたします。
プロとして音楽界で活躍されているOBが大勢居ります。彼らと共演できることは我々の希望でもあります。今回は、音楽部室内楽班OBでもある臼井文代氏を招き、ベートーヴェンのピアノ協奏曲3番を演奏いたします。
昨年は大きな困難に見舞われた一年でした。今回の演奏会も松本地方を襲った地震の影響で会場、日程の変更を余儀なくされました。冒頭のバッハは鎮魂と祈りをこめて演奏いたします。
県外居住者が多いため必要メンバーの確保が容易ではなく、今回も多くの賛助の方に応援をお願いしています。目指す目標には未だ道半ばの感は否めませんが、最後までごゆっくりお楽しみ頂き、ご批評をいただければ幸いです。

（15回卒）

ご挨拶

志音会会長　林　哲郎

本日は、お忙しいところ志音会オーケストラ演奏会にお越しいただき、有難うございます。
5年前の深志高校創立130周年記念演奏会をステップにこのような演奏会を定期的に開催できるまで活動の輪が広がってまいりました。志音会は在校生から80･90歳代の幅広い世代、様々な職業に係わる会員により構成されていますが、各々の青春の一時期に深志高校音楽部で活動しその熱い胸のうちを共有したという思いは皆同じです。その音楽に対する思いをひとつに居住地、練習時間など様々な制約を乗り越え、仲間とともに演奏できることはこの上ない喜びです。音楽に集う私達の演奏をどうぞご一緒にお楽しみください。

（19回卒）

コンダクター　久世 武志　*Takeshi Kuse*

大阪生まれ。国内およびヨーロッパ各国においてオーボエ奏者として活躍後、洗足学園大学附属指揮研究所マスタークラスを修了。指揮を秋山和慶、河地良智、川本統脩、室内楽及びオーケストラスタディを中川良平の各氏に師事。これまで各地のオペラ･カンパニーにて「メリー･ウィドウ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」「魔笛」「ドン･ジョヴァンニ」、「ラ･ボエーム」、「リゴレット」「トロヴァトーレ」等を指揮した他、数多くの公演で副指揮者及び音楽スタッフを務めている。昨年秋にはフランス･アングレーム市にて開催されたコミクストゥス国際室内楽フェスティヴァルに招待され、音楽祭室内オーケストラを指揮。大好評のうちにフランスデビューを飾り、今年の客演も決定している。

ピアニスト　臼井 文代（33回卒）　*Fumiyo Usui*

才能教育にてピアノを始め、松本深志高校を経て東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。ベルリン芸術大学ピアノ科留学、1991年卒業。1990年パリにおける第8回クロード･カーン国際ピアノコンクールにて第3位入賞（1位なし）。1998年カワイ･クラシックオーディション･ピアノ伴奏部門で優秀賞受賞。その後NHK-FM放送などにも出演。現在は国際スズキメソード音楽院准教授および長野音楽大学予備校の講師を務める傍ら、長野県内を中心に多数のソロリサイタルや室内楽など、幅広い演奏活動を行っている。

Program note

● J.S.バッハ／管弦楽組曲第3番 BWV1068より「アリア」「ガヴォット」

管弦楽組曲は、ブランデンブルク協奏曲などと並ぶバッハの代表的な管弦楽である。バリエーション豊かな4つの組曲から成り、当時の様々な舞曲や宮廷音楽の集大成であると言えるだろう。
3月11日の東日本大震災や福島原発の事故から1年が経過したが、震災で亡くなった多くの尊い命を偲び、今もなお深い傷を抱えながら懸命に生きる方々に、1日も早い復興を祈るばかりである。「序曲」に始まり「ブーレ」「ジーグ」に終わる第3組曲の中から「G線上のアリア」の編曲で最も親しまれている「アリア」は、その美しい旋律に鎮魂の祈りを込め弦楽による演奏を、「ガヴォット」には復興への願いと希望を込めてトランペット・オーボエ・ティンパニを交え華やかに演奏する。これからも被災された方々と共に、希望の道を笑顔で歩んで行けることを祈りつつ・・・

● ベートーヴェン／ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 OP.37

全5曲あるベートーヴェンのピアノ協奏曲の中で、唯一の短調である第3番は1800年に作曲され、作曲者自身の演奏によりウィーンで初演された。全3楽章から成り、特にハ短調は交響曲第5番「運命」と同様、英雄的で悲愴感のある調とも言われている。今回この第3番を選んだのは、臼井さん自身であった。喧騒の中にあっても「常に静かに微笑んでいる」という印象の臼井さん。今や長野県を代表するPianistの一人だが、高校の音楽部の頃は専らViolinを演奏されていた。室内楽や合唱の伴奏など「合わせ」のツボを心得ているのは、高校時代の合奏経験が影響しているのではないだろうか。数年前、高校合唱コンクールで伴奏を依頼された際、ジャッジペーパーに「特にピアノ伴奏が素晴しい!」との審査員コメントがあったという逸話は、後輩に語り継がれることだろう。志音会オケとの初共演、「ハ短調アンサンブル」を存分に味わっていただければ幸いである。

● ブラームス／交響曲 第1番 ハ短調 OP.68

1855年、ブラームス22歳の時、シューマンの「マンフレッド」序曲を聴いて感激し交響曲を書く決心をした。経験不足のために中断したが、本格的に作曲に戻ったのは1874年からで、1876年に完成した。着手から21年を要したが、尊敬するベートーヴェンの不滅の9つの交響曲の上に出るものでなければとの思いと、もともと自己批判に厳格で、慎重に進められた為でもあった。
著名な指揮者ハンス・フォン・ビューローによってベートーヴェンの不滅の9曲に続く名作という意味で「第10番」と名付けられたが、確かにこの曲の性格がベートーヴェンの2つの短調の「5番」「9番」とのつながりを数多く示している。特に終楽章主部テーマが「9番」の歓喜の主題に似ており、当時から話題となり批判の対象ともなったが、本人は「愚かな人ほど皆同じように聴く」と皮肉ったといわれる。初演は1876年11月4日、デッソフの指揮でカールスルーエで行われた。
それでは「第10番」の評価とブラームスの皮肉を頭の片隅に、どうぞお聴き下さい。

志音会オーケストラ　出演者

1st Violin

牛山　正博(23)	堀口　洋子(13)	山田　哲(18)	小笠原理美(19)	尾﨑　伸子(21)
倉澤　郁文(24)	市江　純子(30)	徳山　周二(31)	大久保和彦(32)	中村　琢也(33)
渋谷　知子(48)	森山　綾(55)	犬井　啓太(60)	中山　祐樹(62)	

2nd Violin

等々力康友(15)	冨田　則子(18)	波多腰玄一(20)	高﨑　理恵(23)	露木　美貴(34)
氷川　明子(40)	牛山　千史(55)	平沢　重太(55)	井﨑　遥(63)	笠原　孝仁(在2)
堀川洸太朗(在2)	牛山　尚子(友)	鈴木愛美香(友)		

Viola

宮入　徹(33)	雨宮　えりか(31)	寺島希容子(45)	高橋美穂奈(47)	大谷　優(56)
小出　咲穂(在2)	棟田　裕一(友)	塩原　葉子(友)	蜂矢　栄子(賛)	

Violoncello

茅野　周治(61)	伊藤　勇夫(16)	長縄　建三(18)	大久保　智(在2)	寺澤　克義(賛)
蜂矢　隆久(賛)	福田　修一(賛)	宮崎　清之(賛)	村山日向子(賛)	

Contrabass

支倉　早奈(38)	近藤　沙織(賛)	河西　裕太(賛)	久米　理奈(賛)	内藤　茜(賛)
挟間　孝(賛)				

Flute

塩沢　丹里(30)　　猿田　一世(35)

Oboe

市江　雅芳(友)　　山崎　智幸(友)

Clarinet

林　真紀子(49)　　泉　秀登(賛)

Bassoon

福田　伸幸(賛)　　横山　文香(賛)　　ロバート・ワインガート(賛)

Horn

山田　裕介(51)　　竹前　友敬(友)　　市川　かおり(賛)　　菅原裕紀子(賛)　　三浦　秀子(賛)

Trumpet

塩野　英雄(32)　　横川　憲(45)　　依田　泰幸(45)

Trombone

塩原　武文(29)　　永原　史崇(51)　　秋山　良都(60)

Timpani

高山　泰利(32)　　横山　睦(友)

(　)卒業回数か学年、(友)団友、(賛)賛助出演

オーケストラ運営スタッフ

代　表	等々力康友(15)	会　計	市江　純子(30)
運営委員長	長縄　建三(18)	東京練習担当	山田　哲(18)
コンサートマスター	牛山　正博(23)	広報(印刷担当)	伊藤　勇夫(16)、高橋美穂奈(47)
インスペクター	宮入　徹(33)		
ホームページ担当	伊藤　勇夫(16)、寺島希容子(45)	総務全般	堀口　洋子(13)、氷川　明子(40)、渋谷　知子(48)、平沢　重太(55)
管・打楽器担当	塩野　英雄(32)、横川　憲(45)	ステージマネージャー	横山　睦(友)、茅野　周治(61)

協賛団体・協賛者

開催にあたり以下の団体・企業・個人の方々に協賛していただきました。ここに感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

- ケアハウス なごみ松本
- 介護老人福祉施設 ローズガーデン
- 社会福祉法人 ハーモニー
- 有料老人ホーム エリシオン開智
- 個人／宮嶋寛治(14卒)、犬飼勝忠(16卒)、大久保文弘(18卒)　他3名の方は匿名にて

志音会は今年創立60周年を迎えます。記念の演奏会を下記日程で開催致します。

- 日時／平成25年3月24日(日)　開演は午後2時の予定
- 場所／長野県松本文化会館　中ホール
- 曲目／モーツァルト「レクイエム」他

＜皆様のご来場をお待ちしております。＞